

WEB 会報長崎



長崎県土地家屋調査士会

目 次

新年の挨拶			
・ 副会長挨拶	副会長	針 本 久 則	・・・ 1
	副会長	池 田 悦 郎	・・・ 2
・ 各部長挨拶	総務部長	坪 井 邦 幸	・・・ 3
	業務部長	大久保 昌 幸	・・・ 4
	広報部長	杉 山 末 嗣	・・・ 5
平成 2 0 年年男・年女紹介	大村支部	秋 寄 良 實	・・・ 6
	諫早支部	田 代 彰	・・・ 9
九州ブロック協議会ゴルフ大会報告	広報部長	杉 山 末 嗣	・・・ 10
長崎くんちに参加して	研修部長	前 田 利 孝	・・・ 11
土地境界鑑定登録者名簿			・・・ 13
A D R 認定調査士名簿「民間紛争解決手続代理関係」			・・・ 14

新年の挨拶

副会長 針本 久則

皆様、新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、総務部におきましては、新不動産登記法が改正されてから、オンライン登記申請制度への対応に取り組んでまいりました。1月15日に改正登記令、改正登記規則が施行されたことにより、電子申請が実務的に促進されるものと期待されます。当会におきましても、連合会の要請によりオンライン登記申請促進委員を各支部から選出していただきました。オンライン登記申請が出来るような体制を構築していきたいと思っています。また、境界問題相談センターにつきましても、全国50会のうち30会が立ち上げていますが、当会も立上げに向けその意義を鹿児島会の谷口正美相談センター長に講義していただく予定です。倫理規範につきましても、部会で検討し連合会の動きに対応しようと思いをします。

財務部におきましては、ここ3年程、オンライン登記申請制度に伴い、比例会費の検討を行ってまいりましたが、前述の改正登記令及び改正登記規則が施行されたこともあり、比例会費から固定会費へ移行すべき時期かと考えています。

広報部におきましては、ホームページの充実を行うと共に、今年度も中学生への出前事業を行うことが決定しており、引き続き啓蒙を行っていきます。

また、公嘱協会、政治連盟との3団体の会合を2回開催し、互いの連携を深めより一層の業務拡大を計っていきたいと考えています。

最後になりましたが、本年が皆様にとって本当に良い年になりますようにお祈りして、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

業務部・研修部担当 副会長 池田悦郎

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成 19 年度は役員改選の年であり、会長、副会長と常任理事 5 名は留任でしたが理事次長 7 名は全員が新任であり慣れない事ばかりで大変な 8 か月だったと思います。

平成 19 年度も余すところ 3 か月となり、本年度定時総会でご承認頂きました事業計画も予定どおり達成しつつあります。

まず業務部ですが、「1.『調査・測量実施要領』の研究」「2.不動産登記法第 14 条地図作成作業への協力」「3.筆界特定制度における筆界特定調査委員および筆界特定申請代理人としての資質向上の為の研究」「4.境界鑑定委員会の事業推進」「5.公嘱協会との連携の充実」以上 5 項目の計画を掲げています。

第 2 に関しては、全作業を終了し法務局に納品済みです。**作業に携わられた会員の皆様お疲れ様でした。**第 3 に関しては 11 月 17 日開催の第 2 回研修会で境界鑑定委員会の全面協力を得て、筆界特定制度と日常業務における筆界確定作業の技法について研修を行いました。第 4 に関しては、新たな 5 名の委員を選任し境界鑑定委員会を構成し、2 カ年の事業計画を策定しました。第 5 に関しては、長崎県土地家屋調査士政治連盟も交え協議会を開催し三団体の連携の充実を図りました。

第 1 につきましては、2 月 23 日開催予定の第 3 回研修会で発表を予定しています。

次に研修部ですが、「1.研修会の実施」「2.日調連・他県会、他団体主催の研修会の案内と参加支援」「3.ADR 特別研修への対応」の三項目の計画を掲げています。

第 1 に関しては、第 1 回は 6 月 23 日に原章夫弁護士による「調査士実務における個人情報保護について」熊本会の島田宗雄調査士による「街区基準点の活用」の講義、第 2 回は 11 月 17 日に長崎地方法務局福田総括表専、村上表専による「筆界特定制度について」境界鑑定委員会による「日常業務における筆界確定業務について」の講義を行いました。**境界鑑定委員会の皆様有難うございました。**今年度は研修の充実を考え、第 3 回を 2 月 23 日に鹿児島会の谷口副会長による「ADR 相談センターについて」業務部による「『調査・測量実施要領』について」の講義を予定しています。第 2 に関しては、逐次メールにて皆様にお知らせしています。第 3 に関しては新たに 11 名の会員が受講中です。

両部の今年度最後の事業になります 2 月 23 日開催予定の研修会場で皆様のご参加をお待ち申し上げます。

本年は、オンライン申請（半ライン申請）が加速されそうですが、皆様がお応じできますよう新年度に支援体制を組む予定です。

最後になりましたが、平成 20 年が会員の皆様にとって良き年でありますようにご祈念申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻と本会へのご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

総務部長 坪井邦幸

明けましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年総会で総務部長に再任されて早くも8ヶ月になろうとしていますが、総務部の抱える課題は山積しておりまして、瞬く間に過ぎ去ってしまいました。

「オンライン登記申請」につきましては、1月15日から添付情報の別送方式いわゆる半ライン方式がスタートいたしました。この半ライン申請が実施されますとオンライン登記申請が随分簡単になります。日調連の依頼により昨年末に各支部から委員候補者を推薦いただき、オンライン登記申請促進委員会を組成いたしました。この委員会を通じて皆様に情報をお伝えいたしていくつもりですので積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

「境界問題相談センター」は、既に全国の土地家屋調査士の半数以上で立ち上げられています。当会におきましてもADR準備委員会におきまして諸問題について検討を行っておりますが、九州ブロックの未設置会と連携を取りながら、焦らずあわてずに諸問題を解決していく所存です。

「会則、諸規程の整備」につきましては、昨年総会で承認いただきました会則の変更が、年末ようやく法務大臣の認可がおりました。その他諸規程につきまして、総務部会で検討を行っております。

「倫理規範」につきましては、各単位会などから出された意見に基づいて一部改正案が示されています。これにつきまして総務部で検討しております。昨年は食品の偽装問題が次々に発覚して話題になり、一年を象徴的に表す一文字として「偽」の文字が選ばれました。近年企業のコンプライアンス（法令遵守）が強く求められていますが、我々専門家は法令を遵守するだけでは許されないため倫理規範を守っていく強い気持ちが必要と考えます。

我々総務部は、大きな変化の中で様々なことに関わりを持つ必要に迫られています。総務部員一同協力して、事業を遂行していきたいと考えています。会員の皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が会員の皆様とご家族、事務所の皆様にとりまして実り多い年になりますようお願いして念頭のご挨拶に代えさせていただきます。

業 務 部

大久保 昌 幸

昨年度より、業務部長として4年目を迎えることとなりました長崎支部の大久保昌幸です。

前年度の事業計画も会員皆様のご理解とご協力の下、おおむね執行できたのではないかと考えております。

本年度も、私たちが企画した事業計画を実現していきたいと考えております。

昨年度同様、研修部と協働し会員皆様の意見や要望を取り入れながら、研修会を実施したいと考えております。

今期の事業計画の中のひとつにありますように、今年度も昨年度同様、登記所備付地図（法第14条第1項）地図作成作業が、長崎地方法務局及び公嘱協会で作業が進められております。公嘱協会及び担当される会員の皆様は大変とは存じますが、これらの作業が無事完了しますよう協力していきたいと考えております。

次に、長崎地方法務局管内においては最後の作業となる地図整備作業が、今年度は対馬支局で、更に、21年度は壱岐支局で実施されることが決定しておりますので、各支部の皆さんには、大変なお手数をおかけ致しますが、本作業が無事完了できますようよろしく願いいたします。

今年度も、会員皆様のご指導を仰ぎながら、皆様の日常業務が円滑に行えますよう業務部一同協力し努力して参りますので、昨年度に引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

広報部長 杉山末嗣

会員の皆様、明けましておめでとうございます。
本年も皆様にとって幸多き一年でありますようお願い申し上げます。

早いもので本年度も3ヶ月余りを残すばかりとなりました。
本年度、広報部では特に啓蒙活動に重点をおいて活動を行っております。
昨年、無料相談会や新聞広告掲載などを実施しましたが、前年度よりも反響は少なかったように思われます。
土地家屋調査士法・不動産登記法の改正、ADR法の制定などにより、今後、土地家屋調査士の社会的必要性はますます高まってくるものと思われませんが、残念ながら、まだまだ、一般に認識されていないのが現状です。

前年度、島原市内の中学校で初めて行った出前授業は、学校関係者からも一定の評価を受けることができました。本年も島原支部では引き続き、出前授業を行う予定です。このような出前授業・職業案内を通して、中学生・高校生に調査士の業務内容を理解してもらい、必要不可欠な職業であることを認識してもらうこと、また、授業を受けた学生たちがその内容を家庭に持ち帰り、話題にしてもらうこと、こういう地道な活動が、実は、土地家屋調査士の社会的認知度の向上につながっていくのではないかと広報部では考えております。
佐世保支部、平戸支部では、個人的にこのような出前授業を行っている会員の方がおられるとお聞きし、授業の現場に取材に行かせていただきました。取材記事はホームページに掲載する予定です。支部事業の一環として、このような出前授業などを行われる場合は、本会としても、積極的に支援していきたいと思っておりますので、遠慮なくお申し出ください。
ホームページによる会報「ながさき」の発行については、原稿収集の遅れなどにより、3月の発行となります。この中で、学校関係者へ向けて、出前授業の希望校の募集なども行うことにしております。また、連合会の情報についても必要に応じてホームページ上で掲載していきます。

広報部一同協力して事業計画を実行していく所存ですので、会員の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

博多有情

年男 秋寄 良實

(一)

この前飲んでいると、同じカウンターの左端にいいお年のママと連れ合いが座っていた。そのうちママが「お宅のお父さんは連れ合いの恩師だって」と言う。その人が小学二年生の時だそうだ。どこの学校かは聞かなかった。仮にその人が今60才とすると、父は当時40才。「背がすらーっと高くてやさしい先生だつた。 - - - いい先生でねー。」52年前を持ち出して、恩師という言葉を書くのもあまり無いよなあ。ふと私の妙齡の連れが涙ぐむ。「お父さんのことを思い出したの?」と。

(二)

父 26年前に66才で亡くなった。私が開業した時は(何と無謀な)ポケットベルも無く、事務所の留守番は不可欠だつた。家の周りを黙々と耕していた父に留守番を頼み、私はアルバイトの採石場の石割りにも行っていた。タイプライターが無い時代、留守番どころか、測量に申請書書き、委任状書きとこき使っていた。(その筆跡がパソコンの中に残っている。)恐れ多くも、恥知らずも、あたり前の様に。父はさして嫌がる風も無かったように思う。その時は気にも留めなかったが。

3年ばかり過ぎて女の事務員が来るようになり、「留守番はいいよ」と言った。その後、補助者も出来て測量の補助も要らなくなった。父に良かれと思っていた事だが、父は少し寂しげだった。一年後位に病に襲われ、一年後位に病に襲われ、二年後に死んだ。出来損ないの私にづくすだけで、何も要求せず、ただ見守るように。 何故もっと何故。

父には何も返せなかった。

(三)

今日出席する九公連研修会に合わせて、昨日はキャナルシティで『ライオンキング』を見た。7~8年前、大村支部の研修で行ったので2回目だ。私ははっきり言ってミュ

ージカルが好きだ。30年前に長崎で映画『メリーポピンズ』を見て、続けて2週行ったかも。大村では天正少年使節の『ローマを見た』を見た。素晴らしかった。これも一週間の公演のうち2回見た。

森の王ムファサの子供シンバが道に迷う、人生に迷う、王を殺して篡奪した叔父と戦うのか、その死は自分のせいだったのか。

『どこへ行けばいいの 忘れられない 家族と共の暮らし 何処へ 行くとしても この祈りこそ あなたの道しるべ』

アフリカの大地の轟きのようなリズムとコーラスに乗せて、占い猿ラフィキが客席へたたきつける。

『お前こそ王となる 父も祖父も お前の中に生きている

水に映るそのお前を 見つめている』

凄まじい声の力。解き放つ歌声に圧倒され泣きじゃくる自分がいた。

今思い出してまた泣いている。

『お前こそ 父も祖父も お前こそ』

(四)

広島に長男がいるが、昨年6月に前の印刷会社を辞め調査士事務所に勤めてるようだ。夜遅くまでハードと言う。正月に帰って来て、一緒に飲みながら気付けば測量方法の議論をしている。その名も喜多郎、ラッパ気違いで大学を出た後、音楽短大まで行った。一年前までは音楽の議論ばかりだったのが、何と測量方法！

補助者になったいきさつは聞いてない。なったものはしょうがないではないか。でも何で調査士なのか。何故こんな仕事を選ぶ。そもそも仕事と呼べるのか。ほとんど苦行僧ではないか。

ぼつりと呟く「そうかあ、大村は暇かあ」。

寒風の中、あいつも走り回っている。遠い小さな後ろ姿を見つめて。

広島はどこかで、今日もポール片手に走り回っている。だろう。

寄稿文

年男 田代 彰

今年、年男なので会より、思いを書いてくれということでこの雑文を書いています。

もう、かれこれ4回目の年男がやってきました。今年で、48才、独立開業して20年が過ぎ去り、月日がたつのは速いな~と思う今日この頃です。

今思い出すと、この仕事に就いたきっかけは、高校卒業後に、就職はしたくなく、まだ遊びたいな~ということで、測量専門学校に進学し、どうにかこうにか卒業し、何となく測量会社に入り、2年ほど会社に迷惑をかけ退職。

会社を辞めたのでどうしようかと考えていたら、高校時代の同級生の父親が調査士をしていたことを思いだし、その同級生が「結構金になるとばい。」と、言っていたので、私の座右の銘、「棚からぼた餅、濡れ手に粟」を実行するべく、追われるように故郷に帰ってきました。

そして、川口事務所に入ったのはよかったのですが、資格を取る前（特別勉強をしてなかったのですが。）に、先生が亡くなられ、あえなく事務所は閉鎖。ここからが、私が強運の星の下に生まれた強みか、捨てる神あれば、拾う神ありで、現在は亡くなりました、徳永事務所に拾われ、2年目に資格を取得することができ、これも周りの人に良くしてもらった結果で、感謝感激雨あられです。

そして、27歳の時にめでたく開業。のらりくらりと、今にいたり、はや48才。

最近考えることがあり、60歳になったら、自分の事務所で、囑託として働き、63歳になったらパートで働き、半農半漁ならぬ、半農半調査士として65歳まで働こうと思い。

その後、蓄えた元手で、遊び三昧とニヤニヤしながら想いにふけ。

でも現実、ぐだぐだし、まわりに当たり散らしながらこの仕事を死ぬまでやっていくんだらうな~と、日向ぼっこをしながら思っています。

何となく、思いつくままに書き、何の脈絡もない文章であいすみません。

目標は、今年の干支よろしく、先頭を走っている人の背中に飛び乗り、ゴール直前で「エイヤッ」と、飛び降り、1等賞。それでは、お後がよろしいようで。

九州ブロック協議会大分ゴルフ大会

平成19年10月19日(金)大分サニーヒルゴルフクラブにおいて、標記のゴルフ大会が各県から91名の参加者により盛大に開催されました。

当日は、晴天に恵まれ、絶好のゴルフコンディションの中アウト・イン同時にスタートしました。

午後5時には、皆様無事ホールアウトし、大分ワシントンホテルプラザに於きまして表彰式及び懇親会が行われました。

長崎会からは、11名が参加され、今回大会の結果につきましては、団体戦 準優勝 個人成績につきましては、諫早支部の平田会員が3位 他の会員も上位に入り準優勝に貢献されました。飛距離測定結果につきましては、佐世保支部の佐野会員1位 中尾会員2位 諫早支部の松下会員4位 平田会員5位と長崎会は、飛し屋が揃っておりますので来年度の大会は、長崎大会に続き優勝できるのではと思っております。表彰式及び懇親会も無事終了し来年度の当番会に引き継がおこなわれました。

参加された長崎会の皆様お疲れ様でした。



長崎くんち 銀屋町鯨太鼓に参加して

長崎支部 前田利孝

「長崎くんち」について

長崎くんちは、長崎の総氏神様である諏訪神社の秋の大祭として、今から 374 年前の寛永 11 年(1634 年)に、ふたりの遊女が神前に謡曲「小舞」を奉納したのがその始まりであるといわれており、現在では国の重要無形民俗文化財に指定されている、長崎っ子にとってとても大事なお祭りです。

毎年 10 月 7 日から 3 日間、町を挙げて催されます。踊りを奉納するのは氏子の町民で、江戸時代、長崎の市街地は 77 カ町あり、それを 7 分割して 1 ヶ町が 7 年に一度踊りを奉納することになっており、その当番町を「踊町」と称しています。つまり、長崎くんちへの出場は 7 年に 1 回しか無いチャンスなのです。

奉納踊り「鯨太鼓」について

鯨太鼓は、古い時代の中国に伝わる「蓬莱鯨(ほうらいこ)伝説」を、据太鼓と山車により表現したものです。昭和 60 年の長崎くんちに初めて奉納しました。今ある奉納踊りの中では最も歴史の浅いものです。長崎くんちの奉納踊りには大きく分けて「本踊り」「船もの」「曳きもの」「籠踊り」「担ぎもの」がありますが、「担ぎもの」は鯨太鼓と太鼓山(ココデショ)だけであり、数少ない担ぎ物ですので大変な人気を得ています。

昭和 57 年 7 月 23 日長崎大水害の際、その流域に位置する銀屋町においても、中島川の氾濫により多くの世帯が冠水し、大変な被害を被りました。その後片付けの中、当時の青年達は被災を免れた傘鉾を見せられ、「銀屋町にはこんなりっぱな傘鉾がある」ことを知ったそうです。それが 22 年ぶりのくんち奉納復活に向けての動きの始まりで、3 年の準備を経て鯨太鼓の奉納がなされたのです。

鯨太鼓には、長崎大水害のような災害が再び訪れないような願いと、大水害から復興に立ち向かう人々に吉祥が訪れることへの願いがこめられています。

鯨太鼓に参加して

私は本踊りを奉納する桶屋町自治会に所属しておりますが、平成 18 年末の同町有志の懇親会の席で、翌年(平成 19 年)の銀屋町への助っ人参加をする 2 名の先輩から銀屋町鯨太鼓出場を強く勧められ、一度は担いでみたかったこともあり、参加することとしました。

担ぎ手は 20 代前半から 40 代後半までの 60 名。練習は正月気分も覚めやらない平成 19 年 1 月 7 日から開始し、5 月までは週 2 回、6 月の小屋入り後は平日の週 5 日行なわれました。練習内容はランニングと、4 月一杯までは筋肉増強に重点を置いたジャズダンスもしくは諏訪神社長坂を利用しての階段ダッシュ及び腕立て・腹筋・スクワット等。特にランニングは銀屋町をスタートして寺町、伊良林小を通り蛸茶屋で折り返し、新大工町から諏訪神社手前を左折し中島川沿いに銀屋町までの約 4 キロをほぼ全力で走るという過酷なもので、参加したことを何度後悔したことか……。このランニングは本番前まで続けました。5 月からは

主に諏訪小学校で古タイヤを乗せた山車を担がせてもらったの練習でした。

1月から本番までに雨で練習が休みになったのはなんと1回だけでした(本番最終日はあれ程にも雨が降ったというのに...)。また練習を休む人はほとんど無く、私も計3回しか休みませんでした。これは熾烈なポジション争いがあるため、誰も休もうとしないのです。ポジション争いの目当ては前日(まえば、10月7日の初日)の諏訪神社での奉納出場です。全ては前日諏訪神社奉納の場に立つためです。

結果写真の通り、諏訪神社奉納の場に立つことができました。後日(あとび、10月9日の最終日)は豪雨となり、残念ではありましたが、最後のアーケード大丸前での演じ終えた後、歳甲斐も無く泣いてしまいました。

鯨太鼓への参加は私の生涯でも非常に大切な大きな出来事となりました。私の参加を応援いただいた相澤会長はじめ長崎県土地家屋調査士会役員・部会の皆様、残業しながら見送ってくれた事務所スタッフ、そして筋肉痛の私をいたわり、毎日笑顔で支えてくれた妻や家族に心から感謝いたします。

境界鑑定業務取扱会員

登録番号 (土地家屋調査士)	登録名簿番号	支部	氏名	フリガナ	事務所〒	事務所(市町)	事務所(番地)	事務所(ビル名等)	事務所TEL
582	2	長崎支部	相沢 治典	アヱヰ ㇿㇿㇿ	850-0012	長崎県長崎市本河内	三丁目7番1号		095-818-2733
516	3	長崎支部	池田 國廣	イケダ クニヒロ	850-0876	長崎県長崎市賑町	3番19号		095-822-7722
496	4	長崎支部	塩塚 正宏	シヅカ マヒロ	850-0032	長崎県長崎市興善町	7番7号		095-821-1441
517	38	長崎支部	柴田 盛義	シバ タケヨシ	850-0032	長崎県長崎市興善町	4番4号		095-824-7249
691	24	長崎支部	立野 彰弘	タノ アキロ	851-0134	長崎県長崎市田中町	331番地5		095-813-3781
632	5	長崎支部	針本 久則	ハリモ ヒサノリ	850-0874	長崎県長崎市魚の町	3番36号		095-825-0026
698	39	長崎支部	前田 利孝	マエダ トシタカ	850-0028	長崎県長崎市勝山町	43番地5		095-827-8807
478	6	長崎支部	峰 忠彦	ミネ タダヒコ	850-0033	長崎県長崎市万才町	6番12号		095-824-6303
694	25	長崎支部	山口 斉人	ヤマグチ サト	851-0111	長崎県長崎市上戸石町	2130番地145		095-833-0330
		(9名)							
613	9	大村支部	角 良一	カク リョウイチ	856-0831	長崎県大村市東本町	245番地		0957-54-8586
682	10	大村支部	田崎 悦章	タザキ ヨシアキ	856-0831	長崎県大村市東本町	478番地		0957-52-3567
		(2名)							
593	40	諫早支部	池田 悦郎	イケダ イツロウ	854-0024	長崎県諫早市上町	4番3号		0957-22-0080
728	26	諫早支部	酒井 和任	サカイ カズト	854-0063	長崎県諫早市貝津町	2460番地		0957-25-1744
608	7	諫早支部	田代 彰	タノ アキラ	854-0032	長崎県諫早市赤崎町	200番地1		0957-21-0938
667	51	諫早支部	谷口 豊	タニグチ ユカ	859-0122	長崎県諫早市高来町黒崎	457番地5		0957-32-3042
572	41	諫早支部	西野 克毅	ニノノ カツキ	854-0014	長崎県諫早市東小路町	12番12号		0957-22-0079
646	42	諫早支部	平田 利之	ヒラタ トシキ	854-0072	長崎県諫早市永昌町	12番1号	スイトービル3階	0957-26--5879
657	50	諫早支部	真崎 文明	マサキ フミヤ	854-0014	長崎県諫早市東小路町	12番7号		0957-21-3188
610	43	諫早支部	松下 俊彦	マツタ トシヒコ	854-0072	長崎県諫早市永昌町	23番70号		0957-26-8022
641	44	諫早支部	松下 良朗	マツタ リョウロウ	854-0022	長崎県諫早市幸町	16番1号		0957-23-4303
622	45	諫早支部	松永 順泰	マツガ 順タス	859-0124	長崎県諫早市高来町里	264番地の10		0957-32-5443
676	46	諫早支部	山崎 一弘	ヤマザキ 一ヒロ	859-0401	長崎県諫早市多良見町化屋	481番地3	プレステージ多良見2F	0957-43-6555
		(11名)							
724	27	島原支部	石田 浩太郎	イシダ コウタロウ	859-2211	長崎県南島原市西有家町里坊	95番地3		0957-82-6065
563	28	島原支部	田浦 省吾	タナウラ ショウゴ	855-0042	長崎県島原市片町	554番地4		0957-64-4075
649	29	島原支部	林 茂	ハヤシ シゲル	855-0046	長崎県島原市今川町	1862番地10		0957-64-6406
619	30	島原支部	藤原 靖	フジハラ ヤスシ	859-1306	長崎県雲仙市国見町神代己	1208番地		0957-78-3242
663	8	島原支部	横田 耕詞	ヨコタ コウジ	855-0045	長崎県島原市上の町	925番地		0957-63-4000
541	31	島原支部	横田 徹	ヨコタ トル	855-0046	長崎県島原市今川町	1850番地9		0957-64-4533
		(6名)							
639	11	佐世保支部	池田 新治	イケダ シンヂ	857-0351	長崎県北松浦郡佐々町須崎免	371番地		0956-63-2436
720	32	佐世保支部	内嶋 國弘	ウチノシマ クニヒロ	859-3808	長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷	891番地		0957-46-1977
712	47	佐世保支部	大島 雅幸	オオシマ マサキ	857-0813	長崎県佐世保市小佐世保町	25番7号		0956-23-8563
648	33	佐世保支部	大西 律生	オオニシ リツオ	857-0053	長崎県佐世保市常盤町	3番9号		0956-37-2255
672	12	佐世保支部	神尾 正武	カニオ マサタケ	857-0851	長崎県佐世保市福荷町	5番25号		0956-33-5699
714	13	佐世保支部	佐野 聡	サノ サトシ	858-0923	長崎県佐世保市日野町	858番地43		0956-28-0299
659	48	佐世保支部	杉山 末嗣	スギヤマ スエツグ	857-0059	長崎県佐世保市元町	4番19号	ビバシティ元町501	0956-25-3095
566	34	佐世保支部	須崎 満弘	スズキ ミツヒロ	857-0041	長崎県佐世保市木場田町	10番13号		0956-22-9118
596	15	佐世保支部	高橋 修治	タカハシ シュウジ	859-6326	長崎県佐世保市吉井町立石	467番地1		0956-64-4277
627	16	佐世保支部	坪井 邦幸	ツバ イクニキ	857-0040	長崎県佐世保市比良町	4番3号		0956-24-7136
696	35	佐世保支部	中尾 悟	ナカオ ヒロ	857-0142	長崎県佐世保市野中町	356番地8		0956-49-4926
689	17	佐世保支部	中村 淳治	ナカムラ ジュンヂ	857-0016	長崎県佐世保市俵町	26番12号		0956-22-7253
702	49	佐世保支部	初瀬 一夫	ハツセ 一ウ	857-0040	長崎県佐世保市比良町	2番1号	初瀬コーポ1B	0956-25-3666
599	18	佐世保支部	原 徹男	ハラ テツオ	859-3223	長崎県佐世保市広田	一丁目30番22号		0956-39-2379
708	36	佐世保支部	原口 健吾	ハラグチ ケンゴ	857-0040	長崎県佐世保市比良町	1番8号		0956-25-5534
679	19	佐世保支部	松本 忠寿	マツモト タダヒサ	859-3614	東彼杵郡川棚町中組郷	1562番地1		0956-20-6025
640	37	佐世保支部	山下 幸人	ヤマタ ユキト	857-0311	長崎県北松浦郡佐々町本田原免	168番地2		0956-63-5395
		(17名)							
564	21	平戸支部	中尾 駿祐	ナカオ シュンスケ	859-5114	長崎県平戸市築地町	500番地1		0950-22-4920
598	22	平戸支部	松本 芳喜	マツモト ヨシキ	859-5121	長崎県平戸市岩の上町	1495番地1		0950-22-5323
		(2名)							
543	20	五島支部	寺岡 和雄	テラオカ カズオ	853-0015	長崎県五島市東浜町	一丁目4番3号		0959-72-7035
		(1名)							
合計		(48名)							

民間紛争解決手続代理業務認定者

支部名	氏	名	認定証書番号
長崎	峰	忠彦	131006
長崎	井手	義和	131018
長崎	柴田	盛義	131002
長崎	澤田	光盛	131004
長崎	大久保	昌幸	131019
長崎	松竹	雪和	131005
長崎	立野	彰弘	131017
長崎	前田	利孝	131001
長崎	池田	浩太郎	231002
長崎	松下	悦朗	231001
(1 0 名)			
大村	宮脇	成芳	131016
(1 名)			
諫早	久保	泰正	131010
諫早	田代	彰	131007
諫早	山崎	一弘	131023
諫早	酒井	和任	131008
(4 名)			
島原	齊藤	伊知郎	131026
島原	横田	耕詞	131024
(2 名)			
佐世保	今泉	邦俊	231003
佐世保	須崎	満弘	231004
佐世保	有田	清人	131027
佐世保	坪井	邦幸	131011
佐世保	杉山	未嗣	131015
(5 名)			
五島	寺岡	和雄	131014
五島	平山	育郎	131013
五島	山口	淳吉	131009
五島	赤窄	渡	131012
(4 名)			
【 2 6 名 】			